令和6年度 道徳教育 全体計画

三次市立十日市小学校

指導の根拠

- ◆関係法規
- ◆時代や社会の要請
- ◆中央教育審議会答申
- ◆学習指導要領
- ◆県, 市の教育目標及び基本方針

学校教育目標

高い志をもち

夢の実現に向けて

白分らしく

他者とともに

社会を創る 児童の育成

「児童」

◎生活習慣の定着 ◎規範意識の理解 ◎学習習慣の定着

●思考力の定着が不十分 ●不登校の増加, 問題行動の危惧

学校の実態

- ●自己肯定感が低い
- ●人間関係におけるコミュニケーション不足

「保護者・地域〕

- ◎学校教育に対し協力的 ◎外部講師等の人材の豊富さ
- ●あいさつがしっかりできない

全体的指導

学校経堂

- ·知, 徳, 体の調和的育成 •組織的運営
- ・教育活動の全体を通して

学年・学級経営の充実

- ·学年,学級目標の設定 ・豊かな人間関係力
- ・相手意識と協力, 社会性
- 的確な児童理解

生徒指導と道徳教育

- 基本的生活習慣の徹底
- ・ルール.きまりの尊重
- ・相手意識と協力,社会性
- 学習規律の確立
- ・いじめ,不登校指導

家庭•地域連携

- 道徳教育の理解.協力
- 道徳参観日の開催
- ・地域行事等への参加
- 学校外協力者との連携
- ・幼保, 中学校との連携

道徳教育の目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値 についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・ 多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通 して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

- ○人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を生かす
- 〇豊かな心をもち、伝統と文化の尊重する
- 〇我が国と郷土を愛し, 文化の創造を図る
- 〇公共の精神を尊び、民主的社会・国家の発展に努める
- 〇他国を尊重し、国際社会の平和と発展、環境に貢献し、未来を拓く 主体的日本人の育成と道徳性を養う

「特別の教科 道徳」の指導方針

- ○確かな資料分析と、ねらいに迫る授業づくり
- ○体験的な学習・問題解決的な学習を取り入れた授業づくり
- 〇ゲストティーチャー等を活用した指導形態
- ○各教科, 領域, 総合的な学習の時間との有機的な関連
- ○各教科, 領域等で培った表現力(書く・話す)を活かす
- ○指導と評価の一体化
- ○適切な評価方法と指標
- ○家庭・地域との連携指導
- ○道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実

各教科等との関連

【国語】

- 国語の尊重(伝統文化)
- ・「話す・聴く」の態度で道徳の学習を 深める

【社会】

- ・国土, 歴史に対する愛情
- ・社会の形成者としての公民的資質 の基礎

【算数】

- ・見通しを持ち筋道立てる(判断力)
- ・数理的,処理の仕方活用(よりよい 暮らし)

【理科】

- ・自然に親しむ(自然愛)
- ・問題解決, 科学的な考え(判断力) 【生活】
- 人, 自然とのふれあい(自己を見つ) める)
- ・基本的な生活習慣(自立)
- 【音楽】
- ・音楽に親しむ(美の尊重)
- ・歌唱(伝統・文化)
- ・豊かな情操(道徳的心情) 【図工】
- ・創告の喜び(道徳的基礎)
- ・豊かな情操(道徳的心情)

【家庭】

- 家族の一員として
- ・生活に必要な知識・技能(道徳性) 【体育】
- •健康,安全
- ·努力,協力
- ・楽しく明るい生活

【総合的な学習の時間】

- 主体的な課題解決
- ・人との関わり、ボランティアの心と行 動の育成
- よりよく生きようとする態度

【外国語·外国語活動】

- ・積極的なコミュニケーション(人との 関わり)
- ・言語と文化(伝統・文化)

【特別活動】

望ましい活動の場を通して、心身の 調和のとれた発達と個性の伸長を図 る集団生活を営む

- ・希望や目標を持って生きる態度の 形成(学級活動)
- ・自発的, 自治的な活動を通して, 望 ましい道徳性を身につける(自伸会 活動)
- •自立的態度,協力,責任,公徳心, 勤労, 社会奉仕等の育成(学校行 事)

【ことばの教育】

- ・思考力,表現力,感受性の育成
- ・言語環境の充実
- 読書活動の推進

道徳教育の推進体制

- ■道徳教育推進教師の役割
- 指導計画の作成
- 特別の教科道徳の充実
- ・教材の充実と活用、蓄積
- ・家庭や地域との連携の充実 研修の充実

■推進体制

•道徳教育に関する研修を開催 し, 特別の教科道徳, 各教科等 における道徳教育, 家庭や地域 との連携と評価等を推進

見とり・評価

- ■授業中の見とり、評価
- 児童の問題意識や実践意欲の 広がり等を見とり,成長が実感で きるような評価を行う。
- ■日々の見とり、評価
- ・日々の生活の中で児童の道徳 性を見とり,授業や日々の指導 に活かす。

各学年の重点目標

- ①道徳年間指導計画による指導を通して, 児童の道徳的心情を豊 かにし、道徳的判断力を高め、道徳的意欲と態度を培うことを通 して、道徳的実践力を育成する。
- ②学校教育全体を通じて行う道徳教育を補充・深化・統合し、計画 的・発展的に指導する。

共通

低学年の重点目標 中学年の重点目標 高学年の重点目標 ・善悪の判断, 自律, ・善悪の判断、自律、 ·善悪の判断. 白律. 白由と青任 白由と青任 白由と青任 親切、思いやり 親切、思いやり 親切、思いやり ・規則の尊重 ・よりよい学校生活、 ・規則の尊重 生命の尊さ 集団生活の充実 生命の尊さ 牛命の尊さ

道徳的実践力の日常化

生徒指導・学級経営・ことばの教育

道徳的環境の整備

道徳的価値を含んだ体験的な活動

特色ある教育活動

- ●一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援
- ●確かな学力を向上させるための授業改善
- 児童同士をつなぐ学級経営、安心して学べる学習環境つくり
- ●小中一貫の充実